

うさぎとかめの通信

上越市立高田幼稚園

(園長室だより) 109周年
令和7年7月24日 第206号

HPのQRコード→



「思い→体験→表現」は、幼児、児童、生徒に一貫する遊び学びの基本！

☆1学期が終了しました。明日から、夏休みです☆

1学期が本日終了しました。

4月、2名の新入園児と1名の転入園児を迎えスタートしました。3歳児の2人は園生活が初めてでしたが、すぐに園の生活に慣れ、年中や年長のお兄さん、お姉さんとの仲良しになっていました。子供たちの力はすごいですね。

園では、気温や天候の状況を見て園庭や教室等で様々な遊びを展開していました。

外での遊びは、特に実物にさわり、それをどうしてみようかと考えて関わるができます。砂や土まみれになったり、びしょびしょに濡れたりしながら、体全体で土や水の感触を楽しみ、そこから、土や水の特徴に気付いたり、その気付きからダムを作ったり水を流してみたりと、対象との関係が発展していきました。また、子供たちは、草むらの中や木の幹などを注意深く見たり、土を掘ってみたりしながら昆虫を探していました。幼虫は、みんなカブトムシと思っていた子どもたちが、実際の幼虫の動きから、変だな？違うのかな？と考え、図鑑で調べたりタブレットで検索したりして、「カブトムシではないカナブンの仲間だ」という発見をしていました。その他にも園庭で季節の植物や実を使って、おいしそうなジュースやコーヒー、料理を作って、他の友達に振る舞うなど、そのものとの関係が他の友達へと発展していく姿がたくさん見られました。

また、園舎内でも昆虫の飼育を通して成長を感じたり、命のはかなさや大切さを学んだりしていました。廃材を使ってランボルギーニやスペースシャトルを作って、さっそうと道路を走ったり、宇宙に飛び出していたり、なりきって遊んでいました。その遊びから、次は標識も作りたいなどと作りたい物がどんどん出て、一人ではなく友達と協力して作る姿もたくさん見られました。

幼児期は、遊びを中心として、頭も心も体も動かして、主体的に、対象と直接かわりながら、総合的に学んでいきます。子供たちは、対象と直接関わる様々な体験(遊び)を通して思考を巡らし、想像力を発揮し、自分の体を使って、また、友達と共有したり、協力したりして、多くのことを学んでいました。

明日から夏休みです。園ではできない体験や楽しい遊びをたくさんしてほしいと願っています。夏休み明けに、また一回り大きく成長した子供たちに会えるのを楽しみにしています。

☆市長が来園されました。☆

市長が、当園を訪問してくださいました。子供たちの活動を参観され、遊びの中に一緒に混じってくださる場面もありました。



7月の子供たちの姿から



ジャガイモほり 幼稚園のみんなで一所懸命に土を掘りジャガイモを見つけました。全部のイモをまつ組が数えました。



ジムリーナ遠足 ジムリーナの体操器具を使って普段できない運動遊びをしました。体一杯使って楽しく過ごしました。



ピタゴラスイッチ 「どこに行くのかな？」「箱を置いたらどうだろう」試行錯誤しながら転がり方を楽しみました。



ランボルギーニを運転 段ボールに新聞紙のタイヤを付けて、ハンドルも作りました。「走らせたーい！」と、廊下に道路を作って気持ちよく運転しました。



親子で縁日 魚釣り、水ヨーヨーつり、塗り絵、モグラたたきなどのコーナーを親子で楽しみました。怪しい占いの館も…



今日は枝豆とトウモロコシ まつ組が育てている野菜。収穫した野菜はどうする？みんなに分ける！分け方も考えて分けました。